

第三次滋賀県立病院中期計画の中間見直し(案)について

厚生・産業常任委員会 資料
平成27年(2015年)3月6日
病 院 事 業 庁

第三次県立病院中期計画(平成24~28年度)

平成28年度のあるべき姿(病院事業庁ビジョン)

- 県民から最も信頼される病院を目指す
- 将来の医療福祉を見据えた病院機能の構築する
- これら2点を支える安定的な経営基盤の確立する

- ◆基本方針
患者よし、病院スタッフよし、病院経営よし + 県民・地域社会よし
- ◆重点課題
①医療専門職・関連職の確保 ②経常収支の単年度黒字化の実現
③医療の質の充実 ④職員の意識改革(患者目線と経営意識)



- バランス・スコアカード(BSC)活用による業務改善の取り組み
- 各センターによる重点プロジェクトの取り組み
- 収支計画の策定による経営改善の取り組み
- 外部評価の実施、庁内会議開催等による進行管理

見直しの背景

- 【取組状況】…重点プロジェクトの進捗、新規取組事業の開始
- 【環境変化】…診療報酬の改定、消費税率の引き上げ、光熱水費等の高騰、地方公営企業会計基準の見直し
- 【今後の国の動向】…医療制度改革、公立病院改革ガイドラインの見直し

見直しの視点

- ① 重点プロジェクトの実施状況・進捗度合いを踏まえた見直しおよび新たに取り組みを開始した事業を追加
- ② 病院経営を取り巻く環境の変化による影響を踏まえた収支計画に修正
- ③ 病床機能の再編等の医療制度改革や公立病院改革ガイドラインの見直しなど、国の動向に対応

主な見直しの内容①

■重点課題
【医療専門職・関連職の確保】※従前は医師・看護師の確保
高度専門医療・全県型医療をさらに推進するためには、幅広い医療専門職や関連職の人材確保を図ることも重要

■各センター取り組みの主な見直し(機能強化)
【成人病センター】
・緩和ケアセンター設置による緩和ケアを充実
・地域医療支援病院の承認を目指すなど病病診在宅連携を充実
【小児保健医療センター】
・発達障害児が通園する地域療育教室等へ専門職員を派遣し、保護者や地域の担当者等に対して療育支援(技術指導等)を充実
・地域の医療機関や市町、保健所、学校、保育所等の関係機関と連携し、スムーズな在宅生活への移行や在宅生活の質の向上に向けた支援を充実

【精神医療センター】
・政策医療を担うデイ・ケアについて、より高度・特殊専門的な内容(思春期・青年期を中心とした精神疾患の早期支援等)に特化し、今後の運営を実施
・医療観察病棟の整備完了に伴い、今後は手厚い専門的な医療を提供し、関係機関と連携して社会復帰を促進

■重点プロジェクト
【成人病センター】
○ 病院機能再構築とセンター改築事業
○ 全県型遠隔病理診断ネットワーク事業
○ 疾病・介護予防推進事業
○ 地域を支えつなぐ医療専門職等育成事業
○ ICTリハビリテーション推進事業
○ 聴覚・コミュニケーション医療センター事業(H25~)
生来の高度難聴児の聴覚の再生と高齢者の健康的な生活に不可欠な聴力回復を目的に、医療実践や病・産・官・学の連携による機器開発等の「聴覚・コミュニケーション医療の確立」を目指す。
○ 放射線治療支援体制構築事業(H26~)
放射線治療専門職の育成を行うとともに、県全域を網羅する放射線治療の支援ネットワークを構築する。

【小児保健医療センター】
○ 小児保健医療センター将来構想検討事業
【精神医療センター】
○ 医療観察病棟整備事業(H25完了) → 今後は適切な運営を実施

【新たな展開ー地域完結型医療への転換ー】
医療面の2025年問題に対応するため、県内の医療水準の均てん化・向上が必要
・病病診在宅の流れをスムーズに進める医療情報ネットワーク事業の強化
・早期離床・早期社会(在宅)復帰に重要なリハビリテーション事業 等
⇒ 健康医療福祉部と連携して取り組みを推進

■県立病院のあり方検討
国の動向にも注視し、2025年を見据え県立病院に求められる役割を果たすことができるように、県立病院のあり方について検討する。
○ 県立病院に求められる役割
・高度医療、全県型医療の推進
・2025年問題への対応
・将来医療と健康創生の企画・立案、展開
○ 医療を取り巻く環境の変化
・医療制度改革(医療機能の再編・明確化)
・公立病院改革(効率化、健全経営化)
⇒ 国においてH26年度中に新たな公立病院改革ガイドラインが策定される予定
○ 検討課題
・環境変化に対応する病院機能の再構築
・機能再構築に迅速・柔軟に対応できる運営形態の検討
・新公立病院改革ガイドラインへの対応



上記あり方検討の結果については、次期中期計画(平成29年度~)に反映

主な見直しの内容②

■収支計画 (左欄:修正前の計画値、右欄:平成24・25年度は実績、平成26年度は見込み、平成27・28年度は修正後の計画値)

○収益的収支

(単位:床・人/日・百万円)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度			平成28年度			
	現行計画	実績	現行計画	実績	現行計画	見込み	現行計画 A	修正後 B	B-A	現行計画 A	修正後 B	B-A	
稼働病床数	694	694	711.3	703.5	717	717	747.7	717	▲ 30.7	763	739.9	▲ 23.1	
1日平均入院患者数	589.0	561.6	612.0	560.8	617.0	563.6	628.4	610.7	▲ 17.7	633.1	622.7	▲ 10.4	
1日平均外来患者数	1,183.0	1,125.6	1,214.2	1,130.9	1,216.6	1,147.6	1,247.4	1,173.5	▲ 73.9	1,257.0	1,183.4	▲ 73.6	
病床利用率	84.9%	80.9%	86.0%	79.7%	86.1%	78.6%	84.0%	85.2%	1.2%	83.0%	84.2%	1.2%	
入院診療単価	48,679	49,708	48,658	51,695	48,813	53,220	48,894	52,976	4,082	49,854	52,672	2,818	
外来診療単価	14,183	14,989	14,405	15,256	14,404	16,060	14,482	16,025	1,543	14,584	15,975	1,391	
経常収益	医業収益	16,330	15,987	17,013	16,576	17,169	17,189	17,580	18,086	506	18,103	18,265	162
	医業外収益	2,638	2,546	2,444	2,614	2,216	3,050	2,199	2,997	798	2,164	3,045	881
	附帯事業収益	206	214	206	229	206	251	206	229	23	206	229	23
	合計	19,174	18,747	19,663	19,419	19,591	20,490	19,985	21,312	1,327	20,473	21,539	1,066
	うち一般会計負担金	3,571	3,450	3,574	3,644	3,568	4,152	3,552	4,012	460	3,526	4,090	564
経常費用	医業費用	18,128	17,643	18,513	18,365	18,516	19,126	19,038	19,502	464	19,814	19,678	▲ 136
	医業外費用	774	763	764	758	750	950	842	950	108	905	1,047	142
	附帯事業費用	205	213	205	225	205	250	205	228	23	205	228	23
	合計	19,107	18,619	19,482	19,348	19,471	20,326	20,085	20,680	595	20,924	20,953	29
経常損益	67	128	181	71	120	164	▲ 100	632	732	▲ 451	586	1,037	
特別損失	23	38	116	171	4	4,060	4	0	▲ 4	948	0	▲ 948	
純損益	44	90	65	▲ 100	116	▲ 3,897	▲ 104	632	736	▲ 1,399	586	1,985	

○資本的収支

(単位:百万円)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度			平成28年度		
	現行計画	実績	現行計画	実績	現行計画	見込み	現行計画 A	修正後 B	B-A	現行計画 A	修正後 B	B-A
資本的収入	2,501	1,858	3,674	2,087	4,646	2,344	3,409	5,061	1,652	2,448	3,942	1,494
うち一般会計負担金	667	622	661	650	646	32	645	49	▲ 596	657	29	▲ 628
資本的支出	3,623	2,906	4,821	3,370	5,773	4,211	4,814	7,004	2,190	3,638	6,001	2,363
収支差	▲ 1,122	▲ 1,048	▲ 1,147	▲ 1,283	▲ 1,127	▲ 1,867	▲ 1,405	▲ 1,943	▲ 538	▲ 1,190	▲ 2,059	▲ 869
一般会計負担金合計	4,238	4,072	4,235	4,294	4,214	4,184	4,197	4,060	▲ 137	4,183	4,119	▲ 64